

[2018年6月27日]

Bangladesh で国際幹線道路橋を受注

Bangladesh 国クロスボーダー道路網整備事業（カルナ橋）工事

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、アブドゥル・モネム・リミテッド社（現地企業、社長：アブドゥル・モネム）と株式会社横河ブリッジ（本社：千葉県船橋市、社長：名取 暢）と共同企業体（JV）を構成し、 Bangladesh 人民共和国（以下、 Bangladesh ）道路交通橋梁省道路・国道部発注の Bangladesh 国クロスボーダー道路網整備事業（カルナ橋）を受注しました。



完成イメージ（提供：JICA）

■約 17 億の人口を有する南アジア地域は、今後、生産年齢人口（15 歳～64 歳）増加期を迎えます。 Bangladesh においても、人口増と経済成長による内需拡大が期待されていますが、国内では、通関および国境手続きの非効率さに加え、国内・国境周辺の道路や橋梁の劣化および未整備のため、国内外をつなぐ道路が十分機能しておらず、旅客・貨物輸送の障害となっています。また、インドのコルカタと Bangladesh のダッカを結ぶ幹線道路は、大河ガンジスの分流で分断されており、物流のボトルネックとなっています。

本工事は、 Bangladesh 国クルナ管区バディアパラ、モドゥモティ川において国際幹線道路（アジア・ハイウェイ 1 号線 ダッカ～ベナポール）を整備することにより、主要都市間の交通・物流ネットワークの改善を図り、周辺国との貿易促進を図るものです。

■2018 年 6 月 3 日に入札受諾書を受領し、6 月 24 日に契約調印が行われました。 Bangladesh 道路交通橋梁省道路・国道部の K.M.Atiquil Hoque 局長、弊社 高橋昭宏土木本部長、海外事業推進室 竹内一雄工事部長など関係者 25 名が出席しました。



■ 今回の受注は、ダッカ都市交通公社発注の「ダッカ都市交通整備事業 MRT（Mass Rapid Transit）6号線 CP5 工区」に続き、バングラデシュにおける弊社 2 件目の受注となりました。今後、ダッカ事務所を設置し、安定した営業体制を築くとともに、南アジア地域の社会インフラ整備事業プロジェクトに継続参画して、バングラデシュ経済の活性化に貢献したいと考えています。

■ カルナ橋梁工事概要

工事名称：バングラデシュ国クロスボーダー道路網整備事業（カルナ橋）

発注者：道路交通橋梁省道路・国道部

設計監理：オリエンタル・コンサルタンツ・グローバル、オリエンタル・コンサルタンツ、パデコ（PADECO）他 5 社

工期：36 カ月

工事内容：カルナ橋 橋長 690m（ニールセン・ローゼ橋構造部 150m、PC-I 桁橋構造部 540m）
アプローチ道路 4.2km、料金所

請負金額：約 128 億円（JV 総額）

施工会社：鉄建建設、アブドゥル・モネム・リミテッド社、横河ブリッジ 共同企業体

■ 参考資料

↓ JICA バングラデシュ国クロスボーダー道路網整備事業準備調査報告書

http://libopac.jica.go.jp/images/report/12249470_01.pdf

【参考：位置図】



以上

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部 高橋